科目ナンバリング	U-LAS06 20018 LJ42						
授業科目名<英訳>	公共政策論Ⅰ Public Policy I			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 佐野 亘		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

一般に、公共政策の良し悪しを判断しようとすれば、なんらかの価値判断をおこなわざるをえない。そもそも、公共政策によって対応する必要がある社会問題とは何か、という問いに答える際にも、価値判断は不可避である。では、こうした公共政策に関わる価値判断をおこなうための基準はどのようなものだろうか。本講義では、こうした公共政策に関わる価値や規範について紹介するとともに、実際の政策の策定にそれらをどのように活用すればよいかについて考究する。

[到達目標]

公共政策の良し悪しを判断する価値基準としてどのようなものがありうるかを知るとともに、実際の社会問題に対してどのような解決策がありうるかを価値や規範の観点から論じられるようになること。

[授業計画と内容]

以下の課題について、１課題あたり１～２週の授業をする予定である。

１．公共政策の公共性
２．公共の利益（功利主義）
３．公共の利益（パレート基準）
４．公共の利益（費用便益分析）
５．公共の利益（経済成長）
６．公共の利益（幸福）
７．公共の利益（共通の利益、ケイパビリティ）
８．自由（リバタリアニズム）
９．公平・平等（リベラリズム）
１０．卓越主義
１１．非理想理論
１２．実証研究の意義
１３．合意形成
１４．まとめ
１５．フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（コメントシート提出）５０%、期末レポート５０%

公共政策論Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

公共政策論Ⅰ(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
佐野亘 『公共政策規範』（ミネルヴァ書房）
大澤津・佐野亘・松元雅和 『政策と規範』（ミネルヴァ書房）

[授業外学修（予習・復習）等]

授業後に、自分なりにノートをまとめなおすとともに、わからないことなどがあれば、積極的に教員に質問すること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]